

教育ボランティア ニュースレター

第16号
発行日 平成27年7月

多くの教育ボランティアさんにご協力いただき、 充実した学びを得ることができました！

健康生活支援学実習

平成27年度も、さっそく多くの教育ボランティアさんに、本学の教育にご協力いただきました。このレターでは、健康生活支援学実習での学生の学びをお届けしたいと思います。

健康生活支援学実習とは？

この実習は、地域で生活する人々の中で人と関わる力を養い、人々の生活と生活の場である地域を理解し、その人にとっての「健康」とは何かを考えること。また人々が健康を維持・増進するための支援のあり方を考察することを目的に2回生の後期に行われています。西区、須磨区内の小地区をフィールドとし、そこに住むボランティア登録した地域住民に対して家庭訪問を行ったり、地域の探索をしたりします。

平成27年2月16日から27日まで実施した健康生活支援学実習に、西区、北須磨地区の合計80名の教育ボランティアさんにご協力くださいました。

この実習は、地域の中に学生が出向いて行う実習で、学生たちは2週間のスケジュールを自分たちで組み立てて進めていきます。その中で、教育ボランティアさんのお宅を訪問させていただいたり、日々行われている活動、例えば一緒にグラウンドゴルフに行ったり、児童館や福祉センターでの地域活動に同行させていただいたりしました。また、教育ボランティアさんが住まわれている地域の中をくまなく歩いて、地域にある様々な施設の方々や地域の人々に出会うことができました。

実習のはじめのころは、どの学生も世代の違う教育ボランティアさんに戸惑い、十分に話を聞くことが難しかったのですが、教育ボランティアさんと話し触れ合う中で、この実習の目的である「人と関わる力を養うこと」、「人々の生活やその人にとっての“健康”を理解すること」が少しずつ深まっていったと感じています。学生からも「今までとは違った視点に気づけた」、「その人に関心を寄せることが大切と感じた」などの意見が聞かれ、これから看護を学んでいくうえで基本となる学びを得ることができたと思います。また、教育ボランティアさんからは、「学生に来てもらい楽しい時間をもてた」、「若い人に元気をもたらした」、「学生に話すことで自分を振り返ることができた」というありがたいお言葉もいただきました。ご協力いただきました教育ボランティアの皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

(文責：地域・在宅看護学分野 都筑 千景)

「教育ボランティア」は、現在も募集中です。お友達やご近隣の方をお誘いいただき、是非学生の教育にご協力ください。

ご登録希望やお問い合わせは、神戸市看護大学 地域連携教育・研究センター
：古谷 (TEL: 078-794-8080 代表) までお願いします。

編集・発行

神戸市看護大学

地域連携教育・研究センター

運営委員会



【実習を行う学生の様子】